

# 卒業研究(メディアデザインコース)

必修

開講年次：4 年次通年

科目区分：演習

単 位：6 単位

講義時間：90 時間

■**科目のねらい**：メディアデザイン分野における先進の研究領域を探索し、受講者は研究論文・作品制作のテーマを設定し、これまで修得した知識と技術を総合して、自主的かつ計画的に個別指導教員のもとで卒業研究を行う。研究方法論を理解し、自身の研究テーマを確実なものとし、論文においては文献調査から論理的な構成員など、問題解決の手順を修得する。作品の制作過程においては、総合的なデザイン能力を高める。また、論文・作品の研究成果を口頭で発表することで、コミュニケーション能力を習得する。受講者は、研究テーマの設定から論文、制作に至る一連の流れの中で、自身の社会進出やキャリアデザインを実践する。

■**到達目標**：①自身の研究テーマの目的を、社会的貢献性や既知の研究と関連付けて理解できること。②研究目的に沿って論文の執筆、作品制作を完成させる。③論文は論理的に文章で記述し、作品制作物ではデザイン計画の明確な方向性を示すこと。④研究成果を口頭で発表し、討論において的確に自身の考えを述べること。

## ■担当教員：

上遠野 敏・吉田 和夫・武田 亘明・石田 勝也・須之内 元洋

## ■授業計画・内容：

第 1 回	卒業研究オリエンテーション	第 16 回	論文・作品分析
第 2 回	研究テーマの検討	第 17 回	論文・作品分析
第 3 回	研究テーマの検討	第 18 回	論文・作品分析
第 4 回	研究テーマの暫定決定（研究企画書）	第 19 回	卒業論文の作成・作品制作
第 5 回	予備調査（先行研究調査の方法）	第 20 回	卒業論文の作成・作品制作
第 6 回	予備調査（文献調査）	第 21 回	卒業論文の作成・作品制作
第 7 回	予備調査（研究方法）	第 22 回	卒業論文の作成・作品制作
第 8 回	論文・作品分析	第 23 回	卒業論文の作成・作品制作
第 9 回	論文・作品分析	第 24 回	卒業論文の作成・作品制作
第 10 回	研究フローの編成	第 25 回	卒業論文の作成・作品制作
第 11 回	本調査	第 26 回	卒業論文の作成・作品制作
第 12 回	本調査	第 27 回	卒業論文の作成・作品制作
第 13 回	本調査	第 28 回	総合精査（卒業論文の作成・作品制作）
第 14 回	総合分析	第 29 回	総合精査（卒業論文の作成・作品制作）
第 15 回	中間発表会 研究テーマの確定	第 30 回	最終発表・展示

■**教科書**：各指導教員により、適宜資料配布。

■**参考文献**：各指導教員により、適宜資料配布。

■**成績評価基準と方法**：研究遂行能力・卒業研究成果物（70%）中間報告発表会（20%）、の項目について評価を行う。尚、発表会の評価項目は、目的の理解度（30%）、プレゼンテーション能力（20%）、専門知識の理解度（30%）、論理的な意思伝達能力（20%）

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③④		
卒業研究論文・制作物遂行能力・卒業研究成果物	◎	◎	◎	課題に対する展開能力と独創性、困難性、貢献性	60
研究態度			◎	積極的な姿勢。	10
中間発表会		◎	◎	独創性と貢献性	30
課題・作品					
出席				2/3以上の出席	欠格条件
その他					

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：4 年次開講科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：3 年までのデザイン総合実習と異なり、卒業研究は大学教育における集大成であり、学生一人一人がメディアデザイン分野の開拓者であるとの気概を持って研究に取り組んでほしい。研究論文・作品制作双方で、独創性や社会的貢献性に富んだテーマが望まれる。研究テーマに関連する専門知識の理解を深め、研究論文作成・作品制作過程では、コース専任教員全員が横断的な指導を行う。中間発表会を通してプレゼンテーション能力の向上にも心がけて下さい。